

MOMOにつき

笑福亭仁勇さん落語会 ★6月15日のできごと

大阪から仁鶴師匠一門の仁勇さんをお迎えして、二回に分けて落語会を開きました。午前・午後共に大盛況で、MOMOは笑いの渦に巻き込まれました。



午前の子供達へは、落語だけではなく本の読み聞かせなどもありました。



午後の大人の部も、たくさんの地域の方にお集まりいただき、皆様時間を忘れて落語を楽しんでいらっしゃいました。

竹岡おじちゃんの オムライスパフォーマンス ★5月31日のできごと

今日はMOMOのキッチンで31個のオムライスが作られました。



自分の手で卵を割りほぐしチキンライスをとると、竹岡さんが目の前でひとり一人話しかけながらオムライスを作ってくれます。出来上がる度に子どもの顔がパッと輝き、うれしい笑顔がひろがります。まわりの子どもたちは、次は自分の番と期待でワクワクしながら拍手です。

まちの縁側MOMO (マチノエンガワ MOMO)
名古屋市中区にある公園の向かいにある縁側。
あたたかい空間をどうぞ。
まちの縁側MOMOブログ<http://86862469.at.webry.info/>

大久保康雄の風の記憶

進化しているのか、退化しているのか？

とある土曜日、美濃加茂の『日本昭和村』に行ってきた。バリアフリー調査とは表向きの名目で、実は物見遊山である。昭和村への最寄り駅は美濃太田駅だが、駅からはとても車いすで行ける距離ではない。一宮市社協でリフトカーを借りてもらった。

『昭和村』自体、おそらく山を崩して造成されたテーマパークなので坂道が多く電動車いすであれば楽なのだが、手動車いすでは誰かに押して貰わないとちょっと厳しいかなという感じだ。規模自体はそれほど大きなテーマパークではないが、歩くところがかなりあって足腰の弱っているお年寄りもちょっと大変だろう。各建物自体はバリアフリーに配慮されていたし、雰囲気醸し出すための音楽(昭和の懐メロや唱歌)も活かされてはいたものの、昭和村までのアクセス方法が車しかないというのは、ちょっといただけない。

村内の「旧朝日村役場資料館」で、懐かしいものと遭遇した。20代の頃の私が使っていた和文タイプライターだ。コンパクトなものでそれほど文字数はなかったけれど、当用漢字と数字、記号がタイピングできた。そう、私はこの機械から「表現すること」を始めたのだ。いまでいうキーボードにあたる部分に漢字が並んでいて、一字一字打つ度に大きな音がした。活字がすり減ってくると、その文字だけ業者に補充してもらわねばならなかった…。

いまやPCの全盛期である。私も和文タイプライターからワープロへ。ワープロからPCへと移り変わってきた。いまやPCなくしては、仕事にならない。そのせいだろうか、最近ちょっとした退化現象が、自分に起きていることを感じている。難しい漢字は読めても、簡単な漢字が書けなくなっているのだ。昭和から平成に時代が変わって20年。果たして私は進化しているのだろうか、はたまた退化して行っているのだろうか…？



大久保康雄 (オオクボヤスオ)
まちの縁側育くみ隊の理事であり、紙芝居集団・風穴一座座長を務めるなど、多種多様な顔をもつチェアウオーカー

2008年
7月

今月のウイングのウイング

まちのマネジメント力とは？

情報という名の乾いた砂が世界を覆い尽くしているこの現在に、疾走感あふれるダイナミックな発話行為によって、参加者にゆえ知らぬ情動のざわめきを喚起させる事件がおこった。

6月12日(木)のヨル、錦二丁目「まちのデザイン塾」、2008年度の1回目のこと。講師は東京からやってきた平林久和さん。テーマは、

まちのマネジメントとは何か？

ーリーダーとコンサルの限界／マネージャーとカウンセラーの可能性

前半がお話、後半は会場からのカルタ表現の意見・質問とのやりとり。平林さんは、起承転結のある話はしませんと前置きしつつ、次から次への思いもよらぬ話の即興の流れ。ぼくは感動と驚きのために、今日の話はまとめはできないと思っていた。が、最後に司会者からまとめ発言を求められた時、やはりいつものようにやってしまった。

押韻要約は、発話と応答全体の捉え直し、あるいは再構成である。その日は錦二丁目まちづくりのマネジメント力とは何かの観点から、次の7つのキーワードに束ねつつ押韻要約を試みた。

どぎもをぬく意表をつくアイデアの化学反応をおこす

ー「私の成分表」表現による自己紹介の痛快なおもしろさにはじまり、平林氏自身も参加者の意表をつく質問・カルタ表現に化学反応的に触発された様相。人の意識に化学反応的変容を起こす触媒は、脱常識への意思である。

宇宙のひろがりの心の持主としての人間力を育む

ー空海・ダビンチ・利休の共通点は、分子と宇宙の連続性のとらえ方にあるように、ミクロ・人間とマクロ・宇宙は相互につながっているととらえられる想像力をコトあるごとにきたえつづけること

にこやかに盃をかわしつつ、出会いとサヨナラを次から次へと進めていく

ー井伏鱒二訳の漢詩のように、花と嵐の両方を受容しつつ状況をくぐりぬけていく

カウンセラーのように全身で聞く耳をもち、対話・応答しつつ物語りを共につむぐ

ー「聞き屋」となる時、相手(住民)は自由につぶやき、住民・専門家・行政が共にナラティブにコトを

進めることになる

すさまじいトラブルをエネルギーにかえる＝コンフリクト・マネジメント力

ーそのためには、中庸・選択・両立・役割分担・別要素の付加の5つの手段を状況の中で使いわける

るるんわくわく楽しい「プロシューマー」*1になり、自己開示しながら「活私開公」の世界をひらきつづける

ープロデューサー+コンシューマーとしての「プロシューマー」(つくり手であり受け手である)は自己実現しながら、その魅力をまわりにひろげることによって、私発協働、私を活かしつつ「新しい小さな公」を育むことになる

力まらずに起承転結をつけ、それをこえていく「ジョハリの窓」*2を大切にしつつ

ー秩序だった取り組みをしつつ、それにははばられずに状況変化に対してオープンエンドな(未来に開かれた)進め方を育む

ところで、各行初めの言葉をたてに束ねると、
ど・う・に・か・す・る・力

である。マネジメント力とはいかなる状況においても「どうにかする力」なのだ。やりとりの中で地元のキーパーソンのおひとり船橋さんは、「どうにかするのは人間力の母である」という名言をつぶやいた。

この日の平林さんの発話と会場でのやりとりのエッセンスとしての「どうにかする力」のセンスとスキルは、これからの「錦二丁目まちの会所」の運営やマスタープラン策定過程に十分に生かしていきたい。

ーまち育て「マネジメント力」をひとりひとりの中に、日々の状況の中にレイアウトせよ！

ー自己と他者の間で「どうにかする力」を分かちあおう！

<注>*1 アルビン・トフラーの言葉

*2 ジョセフ・ルフト、ハリー・インガムの「ジョハリの窓」

※この原稿は延藤安弘のブログ

(安弘思遊記<http://enside.exblog.jp/>)の再掲です

延藤安弘 (エンドウヤスヒロ)

NPO法人まちの縁側育くみ隊代表理事。愛知産業大学大学院教授。錦二丁目まちの会所・世話人代表。

□ “錦二丁目まちの会所” ってどんなところ？

5月にオープンした“錦二丁目まちの会所”。錦二丁目は名古屋駅と栄の間に位置し、古くからの名古屋都心エリアです。この地区は街区内部にコモンスペース「会所」をもつという世界的にも誇るべき歴史をもっています。

まちづくりの未来を企み開く場としての「錦二丁目まちの会所」は、学生がまちを現場にじっくり創造的に学び育つ場であり、地域の内発的エネルギーと外からの多様な支援エネルギーが相互浸透する共発的まち育て活動を喚起しつつ、マスタープランづくりを進めていく場所です。

□どこにあるの？

名古屋市営地下鉄東山線「伏見」駅下車1番出口を出て、まっすぐ3ブロックをこえたところを左手曲がると、その道が長者町通り。そのまままっすぐ進むと左手に「糸びすビルパート3」があり、その2階です。

★目印は、ビルの1階に美味しいパン屋さん「GURUMAN（グルマン）」

★住所は、「〒460-0003 名古屋市中区錦2-6-13 長者町えびすビルPART3」

□“錦二丁目まちのデザイン塾”

今年で4年目を迎える錦二丁目まちのデザイン塾。参加者は、講師に学びながら、触発された思いをカルタに表現する、という進め方。どんどんありたい方向を情緒的に表す素敵なカルタが溜められています！

さて、7月のまちのデザイン塾は・・・

日時：7月10日（木）※時間は現在未定
 テーマ：コンパクトタウンの計画とデザイン（仮題）
 講師：海道清信氏
 （名城大学 都市情報学部 教授）

場所：名古屋センタービル9F
 ※愛知県名古屋市中区錦二丁目2番13号
 ※錦二丁目まちの会所からスグ！
 参加費：無料地区内外の老若男女の皆様どうぞおこし下さい！

■まちの会所問い合わせ先：（担当 名畑）
 TEL*FAX/052-201-9878 E-Mail/info@engawa.ne.jp

OPEN: 月・水・金13:00～17:00
 記入無
 錦二丁目関連
 まちの縁側育くみ隊
 延藤個人

☑まちの会所
 7月

月	火	水	木	金	土	日	
	[9]錦二キハ-ソ ビヤリング調査 [14]「名古屋まつり」講演会参加 1	2	3	4	[13]錦二まち タンケン・まちづ くり提案 (名大演習) 5	[E]13)フォーラム・ 岡崎2050 (名大演習) 6	
7	[E]15)伊藤氏学 位論文公聴会 [18]錦二マスター プラン・ソナ ビオづくり WG 8	[E]12)ASU研究科 委員会 9	[18]錦二まちの デザイン塾 「コハク カクン」 10	11	[E]13)岡崎リ ア カハ-交流会 [E]17)ASU延藤 ・小杉研ゼミ 12	[E]13)集住研 (京都) 13	
14	[16]錦二名大 基礎ゼミ提案発 表 14	[E]19)碧南棚尾 まちづくりWS 15	[E]11)ア カハ-コ デ-イ ネ-カ ク-調 査 [18]東京住 総研 16	[E]11)ア カハ-コ デ-イ ネ-カ ク-調 査 17	[18]錦二マスター プラン 企画会議 18	[E]17)ASU延藤 ・小杉研ゼミ 19	20
21	22	23	[E]9)豊明協働委 WS 24	25	[E]13)広島福山 市まちづくり 幻燈会+ワ ク-ソ ツ 26	[E]9)広島県沼 隈 一 合 力 調 査 [E]14)同・と も の う ら さ く ら ホ ム 見 学 27	
28	[9]錦二中部大 提案発表会 29	30	[E]17)ASU研究科 委員会 31				[]内の数字は 時間を表します

□まちの縁側MOMO情報

【縁側ギャラリー】
 椎葉佳子さんと生徒さんによるとんぼ玉の作品展示・販売を7月10日（木）～26日（土）で開催します。

【手作り楽しもう会】
 簡単に小物づくりができるようキットが数個手づくりされております。手づくりを楽しみたい方どうぞ！
 日時：7月11日（金）、25日（金）10:00～12:00
 参加費：700円（お茶代込み・材料費は実費）
 お申込：下記のTEL又はFAX、メールにて

【オペラ・歌曲のミニコンサート】
 テーマ：愛と祈りと情熱と・・・真夏の夜の宴
 ～昨年に引き続き、ポストンより来日フレッシュなお二人の演奏をお楽しみください～
 ソプラノ：金原聡子 ピアノ：萩野陽子
 日時：7月19日（土）18:00～
 参加費：無料（お気持ちカンパ歓迎）
 お申込：下記のTEL又はFAX、メールにて

■まちの縁側MOMO問い合わせ先：（担当 延藤節子）
 TEL*FAX/052-936-1717 E-Mail/momo@engawa.ne.jp
 ※イベントはすべて「まちの縁側MOMO」で行なわれます

☑まちの縁側MOMO
 7月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			[]内の数字は 時間を表します

□まちの縁側育くみ隊情報

【ジネンカフェvol.017】
 テーマ：障がい者のジリツって何だろう？
 日時：7月5日（土）14:00～16:00
 会場：まちの縁側MOMO
 ゲスト：猪飼真理子さん
 （東区障害者地域生活支援センター相談員）

参加費：300円
 コメント：
 2005年10月に『障害者自立支援法』が郵政民営化法案の影に隠れてヒッソリと成立しました。この法律によって、障がいのある方の生活がガラリとかわりました。サービスの地域格差をなくすことを目的とした障害者自立支援法ですが、今まで受けていたサービスを受けられなくなった方が多くいらっしゃいます。では、障害者自立支援法の目指すものは何でしょうか？？ そもそも障害者自立支援法の『ジリツ』とは何でしょうか？？ 制度のことから障がいのある方の生活まで広げて話そうと思っています。ジリツって何なのか・・・？皆さんと一緒に考えたいです(*^-^b)

■ジネンカフェの問い合わせ先：（担当 大久保）
 TEL*FAX/052-936-1717 E-Mail/ookubo@engawa.ne.jp

OPEN: 火・金 10:00～17:00
 OPEN: 水・木 13:00～17:00
 OPEN: 土・日 イベント開催日